

ロシアの外交官を殺しているのは誰か、なぜか？

——5人のロシア大使と外交官が、わずか3か月間に殺される

【訳者注】ほとんど報道されない、異常なロシア外交官暗殺の、背後の事情がわかりやすく解説されている。もともと CIA や ZAAA にとって、暗殺やジェノサイドは、工事現場の石ころをどけるようなものだから、彼らが追い詰められたら、どんなことでもすると考えておかなければならないだろう。こういう国家（グローバルな“深層国家”であって、決してアメリカ合衆国ではない）は、地球上に存在してはならない。

State of the Nation (SOTN)

February 23, 2017

次の記事からわかるように、ロシアの外交官や大使ほど危険な仕事は世界にない。もし彼らの任地が地政学的な熱い地点であれば、なおさら危険である。



ロシア国連大使ヴィターリ・
チュルキン



駐トルコ・ロシア大使アンドレイ・
カルロフ



高位ロシア外交官ピョートル・ポリシコフ



駐インド・ロシア大使アレクサンデル・カダキン



ロシア領事アンドレイ・マラニンが死体で見つかったアテネ大使館

<http://themillenniumreport.com/2017/02/was-vitaly-churkin-assassinated-in-new-york/>

(ヴィターリ・チュルキンはニューヨークで暗殺されたのか?)

<http://themillenniumreport.com/2017/01/did-western-intelligence-services-just-assassinate-another-top-russian-diplomat/>

(西側情報局は、もう一人の上席ロシア外交官を暗殺したのか?)

<http://themillenniumreport.com/2016/12/yes-the-russian-ambassador-to-turkey-died-after-being-shot-no-it-was-not-a-hoax/>

(確かに、駐トルコ・ロシア大使は撃たれた後で死んだ。作り話ではなかった)

<http://themillenniumreport.com/2017/02/another-russian-ambassador-dies-mysteriously-in-india/> (もう一人のロシア大使がインドで不審死)

<http://themillenniumreport.com/2017/02/diplomat-death-who-was-petr-polshikov-russian-diplomat-shot-dead-in-moscow-heres-what-we-know/> (外交官の死: ピョートル・ポリシコフとは誰か? ロシア外交官が“モスクワで射殺”——わかっていること)

シオニスト - アングロ・アメリカン枢軸 (ZAAA) は、プーチンのロシアを棒で突いて、第3次大戦の白熱した局面に持ち込むことを、第一の使命としている。無慈悲な財政テロリズムや経済的破壊、外交戦争や代理戦争、メディア宣伝や企業スパイなど、冷戦のやり方では、これまでロシアを全面的武力衝突に引き込むことができなかった。

もちろん、プーチンのロシアに“罪がある”とされる最大の攻撃が、ZAAAの指令するジェノサイドや、シリアで起こっている強制出国を、直接引き起こしている。プーチンは、武装ISISやイスラム国を創り、支援し、武装させた、彼らの念入りな陰謀を暴いただけでなく、彼らの“より大きなイスラエル計画”を挫折させた。

<http://stateofthenation2012.com/?p=23524> (プーチンがシリアで弾道弾を使用、アメリカの秘密の“中東戦略”を打ち壊す)

事実を知ろう——プーチンは、北レヴァントの蛇の穴に、ロシア軍を送り込んで、見事に蜂の巣を大混乱させた。ZAAA指導層は、このような、アル・アサド大統領のためになされた尊い攻撃行動(シリアの防衛)を、全く予想していなかった。そしてネオコン・グローバリストは、決してここから立ち直ることはないだろう。

なぜ、彼らは第3次大戦を本気に始めようとするのか?

ところで、“6万4,000ドル問題”(大金の懸った難問ゲーム・ショー)はこうだ——いったい何人のロシア外交官を、西側の軍事大国は殺すつもりか? そしてクレムリンは最後にはどうするつもりか? 特にプーチンはこれまで、第3次大戦シナリオを避ける多大の努

力をしてきたことが、わかっているのだから！

それこそが、NWO ネオコン陰謀団が、あらゆるロシア外交官を殺している本当の理由である。彼らは、何がなんでも、ロシアを挑発して戦争に持ち込もうとしている。このようにして彼らは、第3次大戦を始めたのはプーチンのロシアであって、常に戦争業者のシオニスト-アングロ・アメリカン枢軸ではない、とすることができる。

なぜ、グローバリストたちは、この地球の文明全体を、戦争に突き落としたいがるのか？ それは、これが世界の国家共同体に**一世界政府**を押しつける、ただ一つの最も効果的な方法だからである。第一次大戦の後に国際聯盟がつくられ、第二次大戦の後に国際連合が設立されたように、この同じNWO陰謀団は、**一世界政府**を制度化することによって、中央集権化されたグローバル政体を確立しようとしているのである。

まさに同じ血筋の、ネオコン戦争業者と富裕なエリートが、2008年以來起こっている“大不況”を、彼らの予定している第3次大戦への序曲として、仕組んだのだった。この戦略がモデルにしたのは、意図的につくられたあの“大不況”であって、これは、第二次大戦に直接つながっていった敵対関係を醸成する環境を準備したのだった。同じ種類の“**金融テロと経済的破壊**”が、今日、ロシアに対して用いられている。非常によく似た一連の戦術が、第一次大戦の直前に用いられ、その時はドイツが対象だった。

実は、ロシアとの多面的な戦争を誘発しようとするには、いくつかの理由がある。おそらく、シオニスト-ネオコンにとって最も現実的なのは、ロシアの母国を——**再び**——盗もうとしていることである（ボルシェビキ革命は、ソビエト連邦として知られる、最初の盗みにつながった）。ミハイル・ゴルバチョフ時代に行われた、高度に秘密の裏取引は、ソ連邦をソビエト共産主義から解放させる代わりに、西側の略奪資本主義者に、ロシアの富と天然資源を横領略取させることだった。しかし、ボリス・エリツィン大統領が、この秘密契約を破棄し、彼自身の選んだウラジミール・プーチンを後継者に据えた。

<http://stateofthenation2012.com/?p=8159>（秘密の歴史が明らかになる：予定計画されたソ連邦崩壊の後、プーチンが決定的役割を果たした）

そこでZAAAとBRICSの間にひそかな戦争が始まり、これによってプーチン大統領は、ベルリンの壁の崩壊以来、NWO支配陰謀団によって盗まれた母国を、隅々まで奪い返した。この壮大な、進行中の戦争は、ZAAAの指導層を大きく不安定化させ、猛烈な愛国主義者のプーチンに打ちかかるのに、手段を選ばないというところまで追い込んだ。そのために彼らは、彼の生涯の友でもある、最も近い腹心と最も信頼している外交アドバイザーたちを、意

図的に選んでこっそり暗殺するのである。

編集者注：

また注意すべきことは、ウラジミール・プーチン大統領の親友であるメディアの大物（RTの創始者）、ミハイル・レーシンが、2015年11月、ワシントンDCのホテルで死んで発見された。彼の死をめぐる状況はあまりに謎が多く、計画殺人の疑いがいまだに消えていない。情報局世界ではよく知られていることだが、CIAの暗殺チームは犯行のために、ホテルや航空機をよく使う。犠牲者が完全に自分の環境から離れているだけでなく、食べ物や飲み物、風呂の水などが厳密にコントロールできる。

<http://themillenniumreport.com/2015/11/did-a-top-russian-media-mogul-just-get-assassinated-in-washington-d-c/>（ロシア・メディアのトップは、ワシントンDCで暗殺されたのか？）

さらには最近、プーチンのお気に入りの運転手が、“狂った車”の事故で死ぬという事件があった。

<http://themillenniumreport.com/2016/09/did-the-neocon-criminal-cabal-just-send-a-message-to-president-vladimir-putin/>（ネオコン犯罪陰謀団は、プーチン大統領にメッセージを送ったのだろうか？）

参考：

<http://themillenniumreport.com/2017/02/top-russian-diplomat-was-shot-dead-in-moscow-just-hours-before-assassination-in-turkey/>（フラッシュバック：ロシアのトップ外交官が、トルコの暗殺事件の数時間前に、モスクワで射殺された）